

第24回

春の縄文野焼き祭り

大地のふところへ、縄文をさがしに。



2017年4月29日土 (雨天時30日)

【時間】午前9:00~午後4:00 【会場】猪風来美術館前広場

入場無料 (駐車場あり)

●縄文豎穴式住居づくり祈念セレモニー

美術館前に建築をはじめた豎穴式住居の完成を祈念するセレモニーを行います

●縄文体験コーナー

縄文土器で煮炊きをしよう!
土偶や勾玉をつくろう!

●女たちの縄文野焼き

陶芸教室生をはじめとする皆の作品の野焼きとともに、
昨年に引きつづき女性たちによる縄文野焼きを実施!

●販売コーナー

昼食・飲み物など販売いたします

 猪風来美術館
新見市法曾陶芸館

第24回 春の縄文野焼き祭り

女たちの縄文野焼き

今回もふたつの野炉をつくり、昨年春・秋と実施してきた『女たちの縄文野焼き』を今年も引きつづいて行います。縄文時代に花開いた母なる大地に根ざした女性たちの創造文化を、いまふたたび現代で大きな炎へと育てよう!



販売コーナー

地元の法曾焼同好会が、昼食やお飲み物、法曾焼茶碗や法曾茶を販売いたします。
どうぞご利用ください。



縄文竪穴式住居づくり祈念セレモニー

● 竪穴式住居《縄文 大地の気場庵》

縄文の文化と造形美は、大地を愛し大地に根ざして生きる竪穴の暮らししから生まれました。いま、縄文の心を追体験する竪穴式住居づくりを進めています。その完成を祈念するセレモニーを縄文野焼きの炎の前で行います。

● 大地へ願いの土偶

みんなでメッセージと名前を刻んだ土偶をつくり、完成した気場庵の中に安置します。あなたは大地にどんな願いを寄せますか? (縄文体験コーナーで受付)

☆ (随時/協力金・一体=300円)

※ できあがった土偶の寄付をお願いいたします。



▲(竪穴式住居の基盤)

● 縄文野焼き祭りとは?

大地から天に開かれた窯のない野炉で、太陽と風と火の力によって土器・土偶を焼き上げる『縄文野焼き』は、大地に抱かれて生きる縄文スピリットの真髄そのもの。陶芸教室生や法曾焼同好会員らの作品をスタッフ・協力者たち皆で焼き上げます。たちのぼる炎の中で土にあらたな命が宿る瞬間を体感することができます。

縄文体験コーナー

● 縄文土器で煮炊きをしよう!

土器を炉にすえて野菜や山のキノコをたっぷり入れた熱々の汁はまさに縄文の味。みんなで薪をくべて、大地の味わいを堪能しよう!

☆ (12時頃~/無料)

● 粘土でつくろう!

縄文粘土でちいさな土器、土偶やオブジェを作つてみよう。縄目文様を入れると縄文の魂が宿ります!

☆ (随時/300円)

● 石でまが玉をつくろう!

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

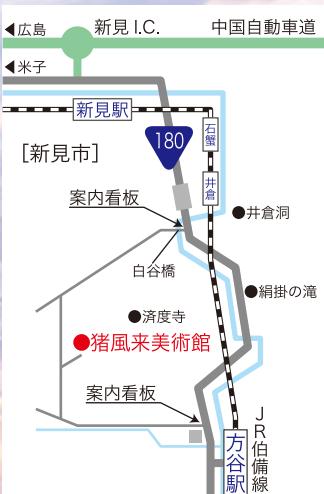
☆ (随時/黒・ピンク・白各500円)

館内案内

館内では常設展のほか、企画展『いのち満ちる~女たちの縄文』むらかみよしこタペストリー展を開催しております。この機会にぜひご観覧ください。(観覧料が必要です)



<http://www.ifurai.jp>



■日時 2017年4月29日(土) AM9時~PM4時(雨天時30日)

■会場 猪風来美術館前広場(駐車場あり)

入場無料(館内は観覧料が必要です)

■主催 猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)・法曾焼同好会

■お問い合わせ先 猪風来美術館 TEL/FAX 0867-75-2444

〒719-2552 岡山県新見市法曾 609